

ニセコ・蘭越地区 地熱資源利活用 協議会 だより

2021.11.1号



令和3年7月 第1回協議会を開催

7月27日、ニセコ町民センターで、今年度の第1回協議会を開催しました。会議では、

- 今年度の協議会の事業計画
- 現在蘭越町内で行われている掘削調査のこれまでの進捗状況や今年度の調査計画、環境調査
- 平成29年に発生した国定公園内の樹木等の違法伐採事案の復旧状況や今後の復旧計画などについて議論されました。



令和3年9月
ラジオニセコ「エネラジ」で
協議会の取組についてご紹介

協議会では、FM放送を通じて町民の皆様に地熱への理解を深めてもらうため、地熱発電について考える番組「エネラジ」を提供しています。

9月23日には今年度第1回目の放送として、ニセコ町、蘭越町の職員から協議会の事業内容、地熱のしくみ、両町の再生可能エネルギーの取組などを紹介しました。

「エネラジ」は来年2月まで毎月1回放送します。

ニセコ・蘭越地区では、再生可能エネルギーである地熱発電の実現を目指す調査が進められています。

役場をはじめ地元温泉事業者などの関係者で組織する「ニセコ・蘭越地区地熱資源利活用協議会」では、地熱発電の有効性や安全性について勉強し、理解を深める活動に取り組んでいます。

このおたよりでは、協議会の今年度の取組状況や地熱の仕組みなどを紹介します。



令和3年7月
大口径掘削基地を視察

7月27日の協議会の後、会議に参加した協議会メンバーなどの関係者が、蘭越町内雪秩父温泉の近くで掘削調査を行っている事業者の掘削基地を視察しました。

基地には高さ約50mのやぐらが組まれ、地下2000m以上の深さまで直径約18cmの井戸が掘り進められており、やぐらの構造や掘削のしくみなどについて説明を受けました。また、掘削作業に当たっての景観や周辺河川への配慮など環境配慮の状況についても説明をいただきました。ニセコ蘭越地区には有望な地熱資源があると考えられていますが、現在の調査は地熱資源の存在を確認し、開発を進めるに値するものか評価することを目的としており、11月には今年度の掘削作業を終えやぐらは解体される見込みです。